

会 議 録

会議の名称	平成25年度第6回行田市市民公益活動推進委員会
開催日時	平成26年2月13日(木) 開会：午後1時30分 閉会：午後3時10分
開催場所	行田市役所 3階305会議室
出席者氏名	金原二郎委員、串田隆義委員、園田佳代子委員、関川忠彦委員、鈴木孝佳委員、今村武蔵委員、中村博行委員、村澤洋委員、稲葉誠一委員、齋藤貴美子委員、長谷川龍委員、野本翔平委員、松井秀二郎委員、田尻要委員、矢本政子委員、浅見知正委員、矢部正オブザーバー
欠席者氏名	織田和美委員、加藤修委員、栗本広宣委員、阿部隆久オブザーバー、木村奏太オブザーバー
事務局	吉田主査、秋田主事
会議内容	司会 吉田主査 1 開会 2 委員長挨拶 3 議題 (1) 行田市市民公益活動推進委員会の別名(愛称)について (2) (仮称)行田市市民公益活動推進基本計画策定作業について (3) その他 4 閉会
会議資料	平成25年度第6回行田市市民公益活動推進委員会次第 (仮称)行田市市民公益活動推進基本計画作業シート
その他必要事項	傍聴者1名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会 委員長 司 会 議 長 事務局 議 長 委 員 議 長 委 員 事務局	1 開会 2 委員長挨拶 3 議題 ・委員長に議事の進行をお願いする。 ・議事に入る。 ・議題（１）「行田市市民公益活動推進委員会の別名（愛称）について」事務局より説明をお願いする。 ・議題（１）「行田市市民公益活動推進委員会の別名（愛称）について」説明 ・前回会議で、市民に活動内容が伝わりやすい、分かりやすい名前にするべきとの意見が出た。公的な名称の変更は出来ないため、愛称ということで決めていただきたい。 ・各委員、愛称案を考えてきていただいていると思う。時間をとるので、グループ内で話し合ってください、発表をお願いする。 <グループ毎の話し合い> ・各グループから発表をお願いする。 <①グループ> 「やりたいことをやろう会」 <②グループ> 「市民元気委員会」「行田まちおこし委員会」「ゆめ行田創造委員会」 「市民元気づくり委員会」「行田ゆめまち育て隊」 <③グループ> 「やる気サポート隊」「行田市やる気ネットワーク（GYN）」 <④グループ> 「まちづくり交流会」「いきいき市民委員会」「行田市民交流会」 <⑤グループ> 「ゆたかなしあわせ活動委員会」「市民しあわせ活動委員会」 「おもしろいまちづくり委員会」「楽しいまちづくり委員会」 ・色々と愛称案が出たが、何か意見はあるか。 ・最後に委員会とつけたほうがよいのか。 ・愛称だから、つけなくてもよい。

議 長	・市の総合振興計画では「ゆめ」「まち」というキーワードが出てくるので、愛称に入れたほうがよいと思う。
事務局	・愛称が決まったら、団体だけではなく市民に対しても広めていただきたい。そのため委員会の活動や目的が分かりやすい名前がいいと考える。
議 長	・活動していることが表現できる名前がよい。 ・「まちづくり」や「げんきづくり」などは、地域を元気にするため委員会が活動しているという意味にもとれる。
委 員	・入間市では市民に元気をつけるため「入間元気条例」を作ったが、逆に市民の元気がなくなった。元気じゃない人もいるので、あまり「元気」という言葉を前面に出さないほうがよいと思う。
委 員	・「未来創造会議」というのはどうか。
委 員	・委員会は、個人や団体を元気にしていく中間的な役割を担うということから、「元気」という言葉があったほうがよいと思う。
委 員	・サポート、支援という言葉がない。「行田ゆめまち支援隊」など、支援という言葉を入れてもいいと思う。
議 長	・「ゆめまち」は、「ゆめ」「まち」両方入っていていい。
議 長	・すぐに決まらないようなので、計画策定のグループワークの際に、愛称についても話し合ってもらおうというのはどうか。
事務局	・よい。
議 長	・続いて、議題（２）「（仮称）行田市市民公益活動推進基本計画策定作業について」事務局より説明をお願いします。
事務局	・議題（１）（仮称）行田市市民公益活動推進基本計画策定作業について」説明。
議 長	・計画及び愛称について意見をまとめていただいた後、２時３５分から発表をお願いします。 ・愛称について、各グループ内でも話がまとまっていないようである。次回までの宿題とさせていただきます。 ・発表にうつる。⑤グループからお願いします。
委 員	<⑤グループ> ・インターネット上にポータルサイトを作成し、活用することにより支援を拡充していく。年配者向けには紙媒体で情報を発信し、紙媒

体を委員会メンバーがデジタル化しウェブ上にアップし情報を集約する。情報は難しいものではなく、写真1枚など、手軽に発信できる程度のものとする。手始めに、手間やお金をかけずプロトタイプを作り、26年度から試運転できればいい。アプリに落とし込めればとも考えている。

<④グループ>

- ・「提案、推進」では、関心を持ってもらうことが必要であり、イベントで参加を募る。行政としての支援が少ないことから、財政支援や施設の設置を検討する必要がある。「理解の促進」では、市報やホームページ、あるいはNPOだよりの発行などによりPRし、意識の醸成を図る必要がある。「役割の明確化」では、市民活動基本条例を制定し、市民や行政等の役割を定義付けすること、また、講演会等により活動をわかってもらう必要があると考えた。

<③グループ>

- ・「団体間の交流」では、ネットワーク会議等による団体同士の交流や勉強の場、みずしろフェスタ等の活動発表の場など、相談できる人と場所が必要と考えた。「市民と団体の交流」では、交流を深めるため、団体の見学会や団体のイベントのPRを強化する必要があると考えた。「地域主体間での交流」では、自治会などの団体のニーズの把握や団体のPRが必要と考えた。

<②グループ>

- ・「助成金」では、専門スタッフによる助言が必要である。「公共施設の活用方法の提案」では、コミセンへの情報の一元化と拠点化が、「活動の継続」では、PRの場の提供、広報誌によるPR、中間支援スタッフの育成、コミュニティビジネスや寄附金等自立のための新たな資金調達の方法が、「団体の育成」では、行政、市民の両サイドから団体の育成の機会を増やすことが必要と考えた。

<①グループ>

- ・「認知度アップ」では、市報1ページを使い団体紹介をする、又は、フリーペーパーを発行するのがよいのではという意見が出た。「活動の発信と機会の提供」では、みずしろフェスタで飲食コーナーを多くしたり、全団体の活動紹介コーナーを出すなど、全団体の参加を

議 長	<p>促すことを、「学ぶ機会の提供」では、団体に発表するチャンスを与えることが必要と考えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何か意見等あるか。 ・次回は、今回まとめたものを基に作業を進める予定である。また、来年度以降の進め方等については、事務局と調整し、次回委員会で提示する。 ・続いて、議題（３）「その他」について何かあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に各テーブルに案内を配布させていただいているが、次回の日程についての連絡となる。次回は３月１７日（月）午後１時３０分から市役所３階３０５会議室での開催となる。次回は今年度最後の委員会となるので、出席について配慮いただきたい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・今後だが、計画の対策や行動について、グループで分かれてやるのではなく、それぞれがやりたい行動に対しての情報交換をやったほうがよいと思う。来年度やることは予算の関係もあるので目安をつけておく必要があると思う。
事務局 委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・計画は２６年度中に策定し、２７年度から開始するものである。 ・来年度はみずしろフェスタはどうするのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の実行委員に通知を出し、近々話し合いをしていただく予定である。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・この委員会は、今年度は今後の話を委員会ベースで考えていくということがメインと考えていただきたい。 ・計画としては２７年度からだが、委員会として、来年度、行動や発信していくことは可能と考える。行政や人任せではなく、知恵と工夫でやっていければと考える。 ・他になければ、以上で議長の職を解かせていただく。
司 会	<ul style="list-style-type: none"> ・以上で第６回市民公益活動推進委員会を終了とする。